

# おごせ 教育 Pick Up

## 平成31年度 学校教育プラン

越生町教育委員会では、「子育てと教育のまちおごせ」を目指し、平成31年度の学校教育プランを次のように定めました。

### 1. 確かな学力と自立する力の育成

- 二期制や土曜授業日の特色を最大限に生かして、新学習指導要領に示された授業時間数を十分に確保し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進します。
- 外国語活動や外国語（英語）の指導を強化し、具体的な目標をもって意欲的に学習に取り組めるように指導します。
- タブレットPC、電子黒板、大型テレビなどのICTを活用した多様な授業を展開し、学習内容の定

着と学習意欲の向上を図ります。

- 人前で堂々とわかりやすく自分の意見を発表する力を育成するため、授業を核として指導の充実を図ります。

- 町費学習支援員や町独自の35人学級を生かし、学習室等を活用してティーム・ティーチングや少人数指導によるきめ細やかな指導を展開します。
- 越生小学校と梅園小学校との合同行事や合同授業の取組を行い、お互いのよさを生かした小小連携を一層推進し、小中学校9年間の一貫した教育を推進します。

- 夏休み前の学習成績や「家庭生活・家庭学習のすすめ」により良い学習の進め方」などの学習リーフレットを活用し、家庭学習の習慣化を強化します。

### 2. 豊かな情操と健やかな心身の育成

- いじめを許さない意識の醸成と人権を尊重した教育を推進します。
- 小中学校9年間を見通した継続的な生徒指導を実践し、不登校ゼロやいじめ解消100%を目指して取り組んでいきます。
- 不登校やいじめの解消に向け、スクールカウンセラー、さわやか相談員及びスクールソーシャルワーカー等、関係諸機関との連携を図り対策を強化します。
- 道徳の教科化（小学校は昨年度から、中学校は今年度から）の

趣旨を生かし、道徳的実践を促す指導を充実させます。

- 越生町ならではの地域の教育力を活用した体験活動に取り組みます。

- 体力の向上を目指し、たくましさや粘り強さを養う体育活動を推奨します。
- 生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図り学校体育活動を推進します。

- 自校給食の特性を生かし、地産地消を進め、地域への関心を高めめます。
- 学校給食を核に家庭や地域と連携して望ましい食習慣の確立を図り、食育を推進します。

### 3. 学習環境の整備・充実

- 安全・安心で快適な学校を目指し、施設・設備の計画的な改修を図ります。
- ICTを活用した情報活用能力の育成のための環境を計画的に整備します。
- 各地区の育成会等と連携した長期休業中の学習の場の設定や充実を図ります。
- 少子化への対応や英語教育の改革などの学習指導要領改訂に向け、計画的に準備していきます。

### 4. 教職員の指導力向上

- 課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び等の視点を取り入れた授業が実践できる指導力を身に付けます。

- 越生小学校、梅園小学校、越生中学校の3校が、「知・徳・体」の9年間を見通した小中一貫教育を推進するために連携を図ります。

- 全教職員を対象に3校合同研修会を実施し、テーマに沿った研修を実施します。

- これまでの取組を継承しつつ、学校・家庭・地域がさらに一体となった教育を実現するための組織づくりに努めます。
- PTA活動を支援し、保護者と教職員の連携のとれた活動を推進します。

### 6. 越生町「3つの◎」の推進

- 越生町・越生町教育委員会が推進する「3つの◎」のリーフレットを活用し、子供の発達の段階に応じて取り組みます。
- 学校・家庭・地域が連携し、様々な機会を捉えて「3つの◎」を励行します。

### 7. 学校応援団活動の推進

- ボランティアとして学校への協力・支援を行う保護者・地域の力を応援します。
- 学校応援団活動を充実させ、登下校の安全確保や学習のための環境整備を図り、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。

### 8. 家庭教育支援体制の充実

- 「家庭生活・家庭学習のすすめ」

「より良い学習の進め方」のリーフレットを活用し、学校と家庭が協力して児童生徒の基本的な生活習慣や家庭学習習慣を身に付けさせます。

- 家庭教育アドバイザーの活用、民生・児童委員との連携、保護者会の工夫等により、発達の段階に応じた「親の学習」の機会を増やし推進します。

- 越生子ども未来大学及びサマースクールを実施し、地域の教育力を生かした越生町ならではの学びの場をさらに充実させます。

### 9. 児童生徒の安心安全の確保

- 通学の安全のため、中学生の自転車通学者はヘルメットを着用させます。また、小学生が自転車に乗る際には、ヘルメットを着用することを奨励します。
- 通学路の危険箇所を点検し、関係各課と連携を図りながら安全を確保します。
- 児童生徒に情報モラルを身に付けさせ、適切に活用できるようにするための学習活動を充実させます。
- スクールガード（見守り隊）の協力や子ども110番の家との連携を図り児童生徒の安全を図ります。
- 学校ごとに活用できる「一斉メール配信」を活用し、防犯情報等を適時適切に保護者に周知できるようにします。

# 越生浪漫

No. 123

越生人物往来①  
伝説編



今月から、さまざまな形で越生を行き交った歴史上の人物を紹介したいと思います。初回は『おごせの昔話と伝説』から。古代から中世初めに名をのこした人たちの巻です。  
法恩寺の縁起(行基)  
昔、僧行基が全国行脚の折に、越生の山の上に来て景色をながめていたら、五色の雲が流れてきた。で、その五色の雲をたよって行ったら、そ



れは二つの井戸から上へ上がっていた。そこで、これは何か靈験のあるしるしと、その井戸をさらってみたら、そこから五体の仏像が出てきた。その五体の中心となる大日如来を法恩寺の本尊として奉り、残りの四体を法恩寺の四方に配置して、この土地の豊作を祈ったという縁起があるんですよ。そして、その二つの井戸は「金明水」「銀明水」って言って、今でも法恩寺の近くに残っているんですよ。特に銀明水はいい水が出ます。金明水はちよつと埋まりましたね。じくじく湧いているだけになりました。  
悪龍と坂上田村麻呂  
坂東三十三ヶ所のうちの十番の札所に「比企の岩殿」というのがあって、そこには昔、悪龍が棲んでいましたね、非



常に農民を苦しめたそうです。それを坂上田村麻呂が聞いて、なんとかして悪龍を退治してくちゃとすることで何度も攻めたんですけども、なかなか攻め切れないで疲れきってしまつた。そこで悪龍は六月で暑いさなかだったのに、これで雪でも降らせば田村麻呂の軍勢が全部凍えてしまつたらうと大雪を降らせましたそうです。ちょうど麦のできる時で、麦の粒がたくさんあつたもんで、それを燃やしてお尻をあぶって寒さをしのいだんだそうです。この付近では、六月三十日になると、小麦の殻、「小麦ピール」と言うんですが、それを燃やして尻をあぶると無病息災であると伝えられています。  
顔振峠(源義経・弁慶)  
「顔振峠」っていう名前はね、義経だか弁慶だかが、あんま



り道が険しいので、「こりやあー」といつて首を振つたので、この名がついたということだ。  
弁慶のねじれ松  
顔振峠の頂上の七合目ぐらいいですかね、一本の松の太木があつたんですね。あまりにも力のある弁慶ですから、その松をねじってしまったという伝説が残っています。  
弁慶の手玉石 弁慶が手玉に取つたと言われていて、手のひらと、こぶしの跡がついている石なんです。  
西行杉  
西行法師が植えたつていう西行杉があるんですけどね。西行がご飯を食べた箸を地面に刺して、それが大きくなつたという伝説なんですけどね。私らの子どもたちには四本あつたとかいう。それが枯れて、二、三本になつていきます。

※越生叢書2『越生の昔話と伝説』越生町教育委員会・共立女子大学日本民話研究会編/平成4年刊(さし絵・須田晃弘氏)

## 太田道灌を大河ドラマに！ 署名にご協力ください。

署名用紙は、町立図書館、中央公民館、自然休養村センターなどに置いてあります。インターネット署名もできます。越生町のホームページ、太田道灌ホームページ(doukan.jp)をご覧ください。

太田道真・道灌の史料をお持ちの方、逸話や言い伝えなどをご存知の方、情報をお寄せください。☎生涯学習課文化財担当 内線533

